

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証グロース)

第3回 日本抗体学会学術大会での当社抗体を用いた研究成果発表のお知らせ

この度、当社抗体に関する研究成果が、第3回日本抗体学会学術大会（開催地：仙台国際センター、開催期間：2024年12月9日(月) - 12月11日(水)）において発表されますのでお知らせいたします。

本学術大会では、国立大学法人東京大学教養学部 生命認知科学科 基礎生命科学分科の研究グループとの共同研究の成果である抗体スクリーニング技術に関する研究内容ならびに、国立感染症研究所 感染病理部・鈴木忠樹部長の研究グループとの共同研究による抗 Id 抗体を用いたユニークなワクチン抗原デザイン手法に関する研究成果について、それぞれ発表いたします。

当社は独自の抗体探索技術である ADLib®システムの改良・応用を推進すると共に、抗 Id 抗体の特徴を活用した抗体創薬の新たな可能性に期待しており、独創的な技術やアイデアに基づく創薬研究を進めてまいります。

学会発表の概要は下記の通りです。

日時：2024年12月10日(火) 17:45-18:45

プログラム：Po-034、Po-146

発表形式：ポスター発表

タイトル：Po-034 「免疫細胞を利用した独自抗体ディスプレイ技術の開発と応用」

Po-146 「インフルエンザウイルス抗原に隠された、保存された構造モチーフを探し出して真似る：抗 Id による分子擬態を用いた新しいユニバーサルワクチン抗原のデザイン」

学会 HP <https://antibodysociety.jp/>

以上

<ADLib®システム>

ニワトリ DT40 細胞の抗体遺伝子の組換え活性化によって抗体を作製する技術であり、1) 治療薬や診断薬の候補抗体の作製が迅速である（セレクションからスクリーニングまで最短 10 日間程度で完了）、2) 独自の多様化メカニズムに基づいた抗体作製が可能、3) 得られた抗体の標的に対する結合力の強化（親和性向上）が容易、といった特長を有しております。ADLib®は当社の登録商標です。

<抗 Id 抗体>

抗 Id 抗体は、免疫グロブリン（抗体）に対して結合する抗体の中で、特定のモノクローナル抗体のみに結合し、そのほかの抗体には結合しないような性質を持つ抗体のことです。例えば、ある治療用抗体に対する抗 Id 抗体は、その抗体医薬品の薬物動態、薬力学的解析などにおいて非常に重要なツールとなります。抗 Id 抗体の中には、標的とする抗体が認識している抗原分子表面とそっくりの性質を持つものが存在する可能性があり（分子擬態）、その様な特別な抗 Id 抗体は元の抗原の代わりとして機能することが出来る性質を有しております。本共同研究では、この分子擬態を可能とする抗 Id 抗体に関する実証試験を実施いたしました。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社カイオム・バイオサイエンス IR 担当

電話：03-6383-3561